

発電所内のモニタリング状況等について

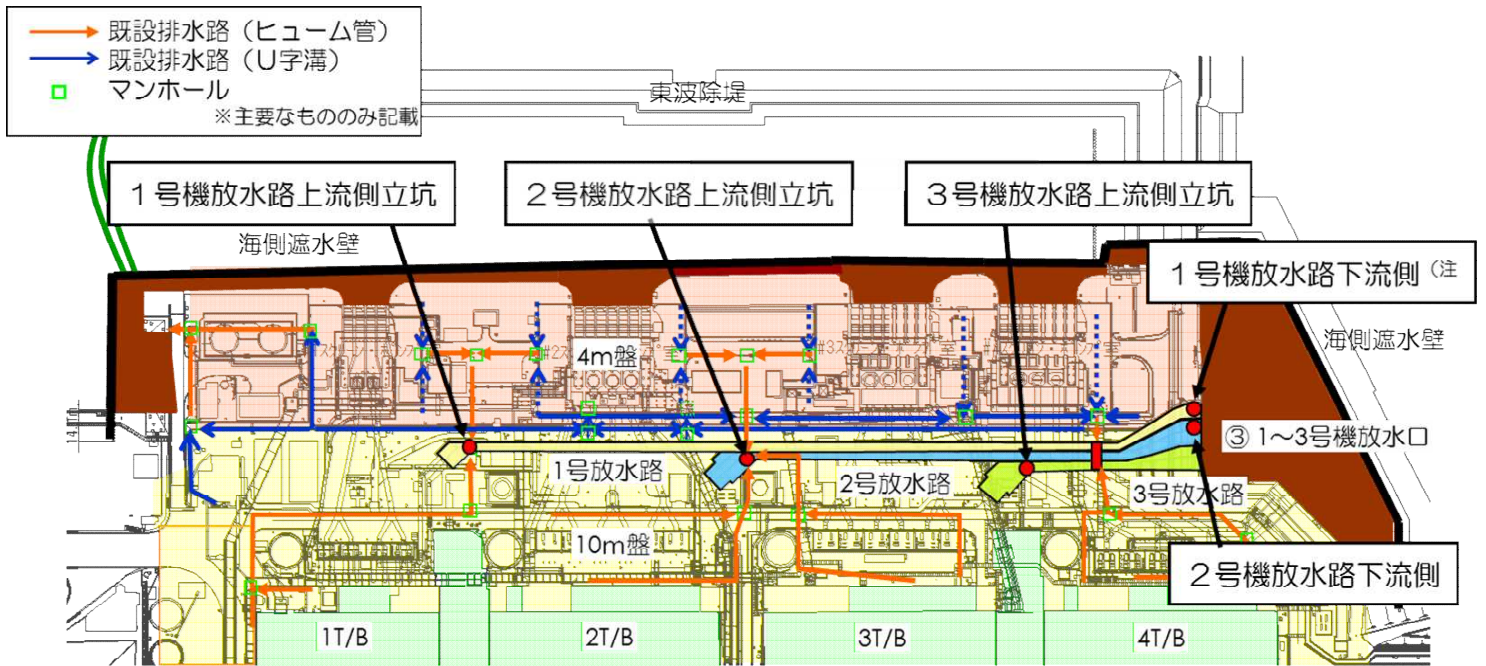
2016年4月28日



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1

1～3号機放水路及びサンプリング位置図(平面図)



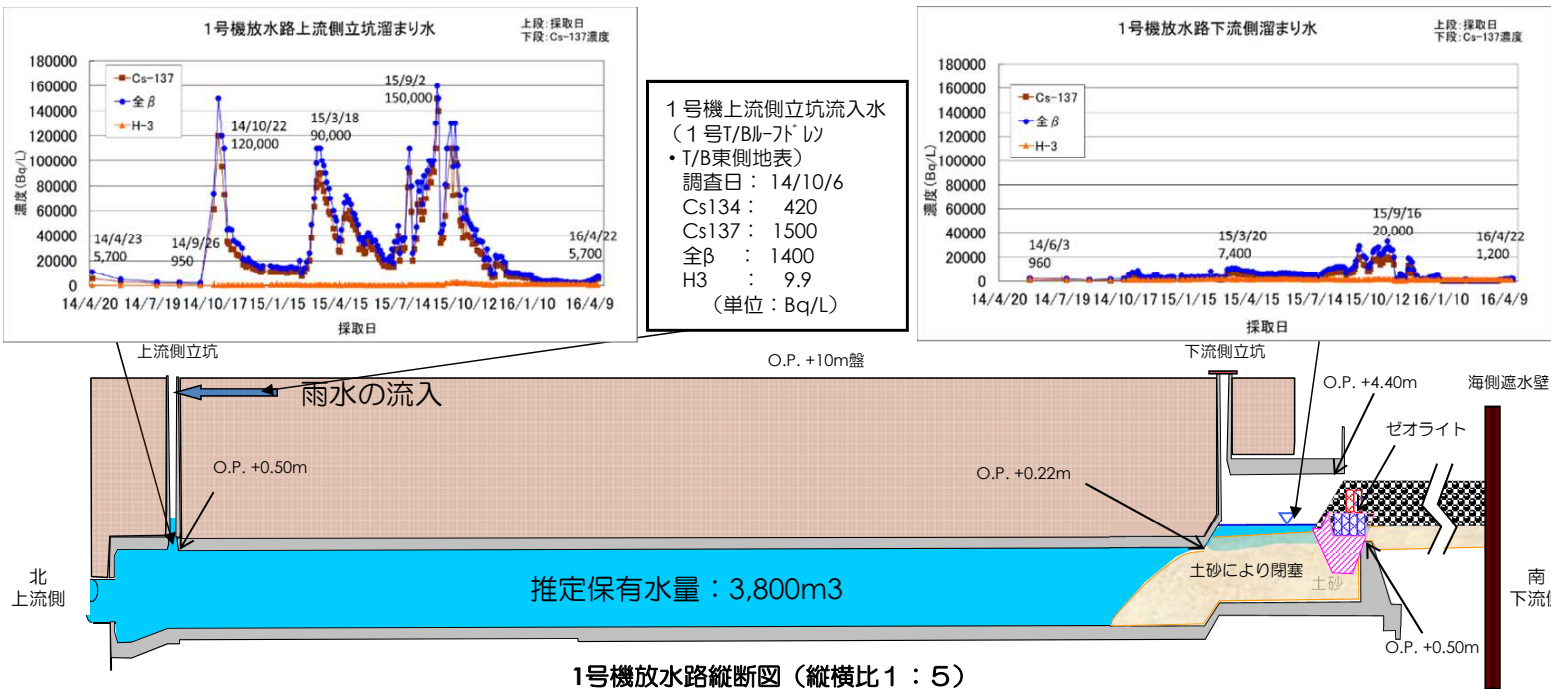
注: ゼオライト土のう設置(2月)以降、放水口から下流側立坑へのアクセス不可のため、放水口上部より採水

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2

1号機放水路サンプリング結果

- 2015年11月27日より、放水路浄化装置（モバイル式処理装置）による浄化運転を開始。12月以降、1号機放水路下流側立坑溜まり水のセシウム137濃度は低下し、現在は5,000Bq/L前後。
- 放水路下流側溜まり水のセシウム137濃度も低下し、現在は1000Bq/L前後。
- 濃度が低下したことから、3月29日より運転を一時休止中。



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1号機放水路浄化装置による浄化の状況

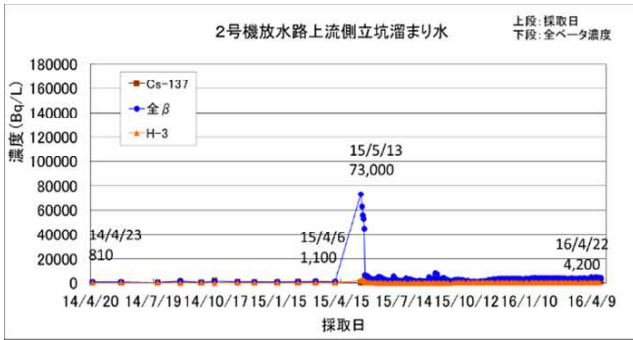
- 1号機放水路の浄化装置は、3月29日9時までには25860m³の溜まり水を処理。浄化により濃度が低下したことから、3月29日より運転を一時休止中。
- 休止後に若干濃度が上昇。過去の濃度上昇に比べて上昇は緩やかであり、新たな流入があるのかは不明であるが、傾向を監視し、対応を検討する。



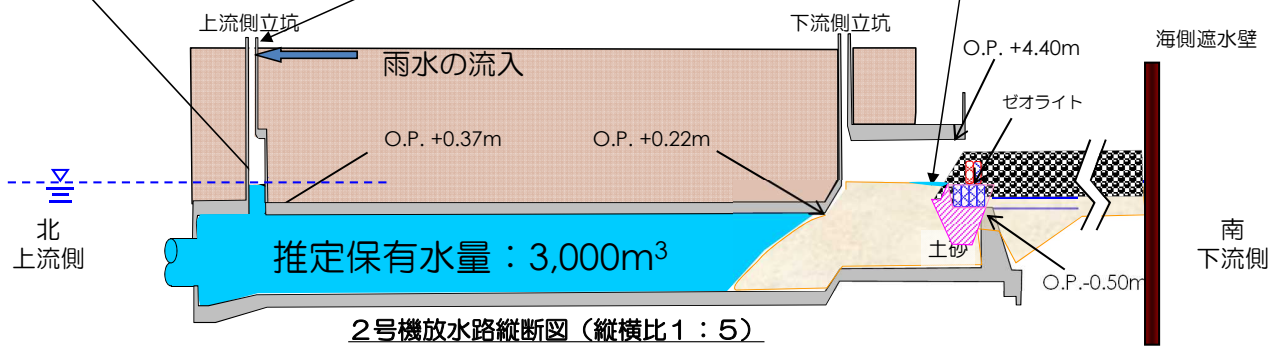
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2号機放水路サンプリング結果

- 2号機放水路上流側立坑の溜まり水の全ベータ濃度は、横這い状態で推移。昨年5月のような急上昇はみられていない。
- 下流側（放水口）の濃度も低濃度で、上昇は見られない。



2号機上流側立坑南側流入水
(3号T/Bビルドゥイ
・T/B東側地表)
調査日：15/5/19
Cs134：1,500
Cs137：5,700
全β：7,700
H3：ND(110)
(単位：Bq/L)



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

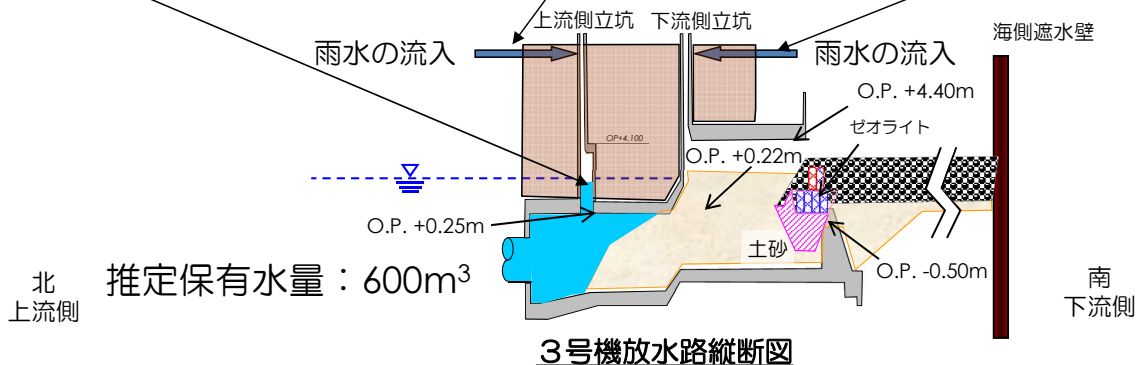
3号機放水路サンプリング結果

- 3号機放水路上流側立坑溜まり水のセシウム濃度は、降雨により若干の上下はあるものの、1,000～2,000Bq/L程度で推移。
- 引き続きモニタリングを継続する。



3号機上流側立坑流入水
(3号S/Bビルドゥイ・T/B東側地表)
調査日：14/6/12
Cs134：1,400
Cs137：4,100
全β：4,800
H3：ND(9.4)
(単位：Bq/L)

3号機下流側立坑流入水
(4号T/B建屋周辺雨水)
調査日：14/6/12
Cs134：1,000
Cs137：2,800
全β：3,900
H3：13
(単位：Bq/L)



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社